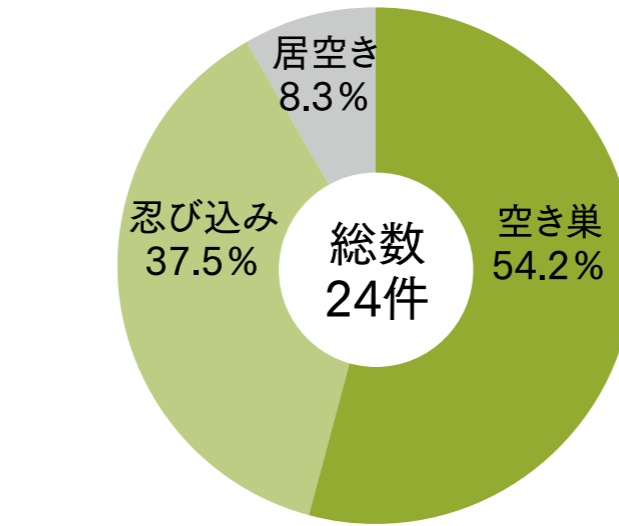


# 強盗や窃盗から身を守る 防犯対策

全国各地で強盗や侵入窃盗事件が発生しています。ニュースなどを見て不安に思っているかたも多いかもしれませんが、住宅へ侵入されないよう、防犯対策を見直してみましよう。

## 住宅対象侵入窃盗 市内の発生状況

(令和4年深谷警察署・寄居警察署調べ)



市内でも住宅を狙った侵入窃盗事件が起きているんだねえ～。

## 防犯対策は警戒心を持って犯罪に備えておくことが大切です！

### 【侵入窃盗への対策】

侵入窃盗は、無締まりの窓からや窓ガラスを割って侵入する手口が多く、トイレや風呂などの小さな窓や二階の窓など、思いがけないところからの侵入にも注意が必要です。

『まさか、こんな場所からは入らないだろう』『外出は少しの間だから締めなくても大丈夫だろう』とは思わず、普段から玄関や窓の鍵の施錠を徹底してください。その他、効果的な防犯対策は『光』『音』『時間』です。

『光』の対策としては、人感センサーライトや防犯カメラの設置があげられます。侵入者を侵入口に近づけないような対策をとりましよう。

『音』の対策としては、死角となる場所の地面に玉砂利(防犯砂利)など音が出るものを敷くことが効果的です。

『時間』の対策としては、侵入口となる窓にシャツ

ター、補助錠、防犯フィルム、強固な面格子などを設置することがあげられます。玄関や勝手口などの出入口は、防犯性能の高い錠を設置したり補助錠を取り付けるなど、侵入までに時間をかけさせる対策が有効です。

### 【来客や不審電話などへの対策】

犯人が業者を装い、家族構成などを聞き出す手口もあります。突然の訪問者や電話にも慌てず、個人情報や安易に提供しないようにしましょう。高齢者は犯人の言いなりになる傾向が高くなるので、留守番電話機能や詐欺被害防止機能付電話などを活用し、犯人との接触を避けることが有効です。

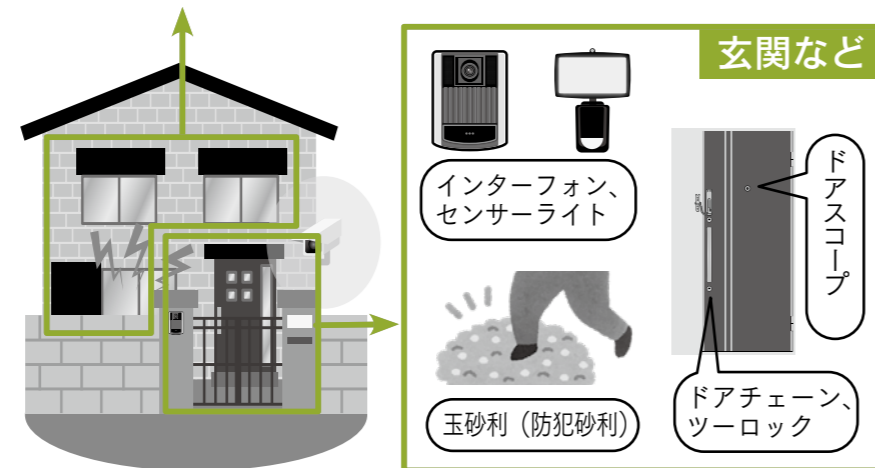
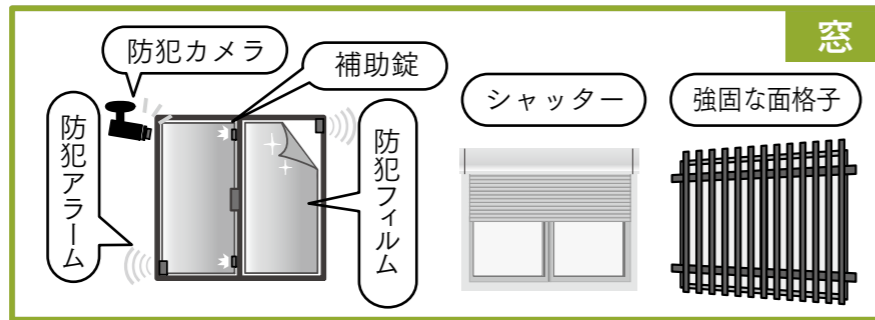


深谷警察署で聞きました！

(写真左から)生活安全課 課長 柳川喜秋さん、生活安全課 生活安全係長 出浦徳さん



## 被害に遭わないための防犯対策



### 登録してますか？

### 県警メールマガジン 犯罪情報官 NEWS

県警では、県内で発生した重要凶悪事件や不審者情報などの情報を地域別に発信しています。

### 【登録方法】

右記QRコードから空メールを送信し、返信メールの案内に沿って手続きしてください。



※詳しくは、県警ホームページ(『県警メールマガジン犯罪情報官 NEWS』で検索)をご確認ください。

### 在宅時也要注意！

### 『侵入窃盗』の発生状況と手口

『侵入窃盗』事件は令和4年中に市内の住宅で24件発生しています。

手口としては、『空き巣』の割合が多いものの、住人がいる時に侵入する『居空き』と就寝時に侵入する『忍び込み』が全体の4割以上を占めており、在宅時にも注意が必要です(上記グラフ参照)。

### 戸締まりは防犯の第一歩

最も多い侵入ケースは、鍵の無締まりです。そのため、戸締まりは防犯の第一歩といえます。不在になる部屋や、目が届きにくい部屋も必ず鍵をかける習慣をつけましよう。換気用の小さい窓からも侵入するケースもありますので注意が必要です。

### 警戒が必要なさまざまな手口

在宅中の突然の訪問者や、自身が帰宅する際にも危険が潜んでいます。

点検業者や隣人を装って住宅に押し入る手口や、帰宅の際に後をつけられ、自宅の玄関を開けた瞬間に背後から押し入る手口などもあります。そのため、在宅中の訪問者などへは不用意にドアを開けず、インターフォンやドアスコープ、ドアチェーンなどを活用し、警戒心を持った対応を心掛けましよう。

万が一、侵入されてしまった場合には、侵入者と戦ったり、自ら侵入者を捕まえることは大変危険です。外へ逃げる事ができる場合は隙を見て外へ逃げ、周りに助けを呼んだり警察へ通報してください。